

福岡県公立高校の入試選抜方法

■推薦入試

1. 推薦入試の現状

推薦入試は、各中学より学校長の推薦を受けた生徒に対して、一般入試のような学科試験ではなく、面接や作文・実技などが課される試験です。推薦入試は、普通科一般を含む多くの県立高校で実施され、各高校それぞれの特色等に応じて、定員の10～20%程度を募集しています。

一つの中学校から同じ高校に推薦される生徒は、内申点・日頃の学校の生活態度・課外活動等を考慮して、担任の教師より推薦され、最終的に中学校全体で決定されます。学科試験が免除されるので希望する生徒が多く、競争率の高い困難な試験になっています。また、一部の県立高校で中学校長の推薦を必要としない自己推薦が実施されています。

令和7年度 推薦入試日程

入学願書受付	令和7年1月22日（水）～1月28日（火）正午
面接・作文・実技試験	令和7年1月30日（木）・1月31日（金）
合格内定通知	令和7年2月5日（水）午前9時
合格者発表	令和7年3月17日（月）午前9時

2. 推薦入試の選考方法と内容

選考方法 面接・作文・実技試験などの結果と、中学校から提出される調査書や志願理由書などの書類とを総合して選考されます。内申点が高くないと推薦入試での合格は難しくなります。

試験内容 面接・作文・実技で実施

面接

志願者全員に対して実施される。
形式には、個人面接とグループ面接がある。時間は5～10分程度。
個人面接……受験生1人に対し、数名の面接官で面接する方法。
グループ面接…受験生を何人か（3～6人程度）のグループに分け、全員に同じ質問をしたり、一つのテーマに絞り意見を述べさせたりする方法。

作文

一部の学科やコースまたは系で実施。各学校とも、字数は400～800字。時間は40～60分。同じ学校でも、学科・コースまたは系によってテーマが異なる場合もある。作文では、思考力・独創性・人柄・意欲など、受験者の人物全体が見られるとともに、国語力も見られている。どんなテーマに対しても、自分の意見を持ち、それを表現する力が必要である。

実技

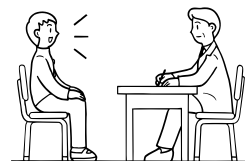
一部の学科やコースで実施。過去に実施された内容には以下のようなものがある。
英語科・コース：英語のリスニング
体育コース：50m走や走り幅跳び、ハンドボール投げ等の基礎実技や専門種目
理数科：理科実験
美術科・コース：デッサン、水彩画
総合学科：自己表現
服飾デザイン：ミシン縫い、手縫い、アイロンがけ

＝推薦入試にチャレンジ＝

通知表で9科目合計が40点以上（5段階評定）を獲得している受験生は、推薦入試にチャレンジすることも考えてみよう。もし推薦入試で不合格になっても、同じ学校の一般入試が受験でき、不利になるようなことはありません。

3. 面接での質問内容例

志望動機	その学校を選んだ理由。自分の言葉で伝えるのがポイント。
将来の希望	相手がイメージしやすいようにできるだけ具体的に。理由も添えて。
高校での抱負	勉強・クラブ活動・文化祭などの学校行事など具体的に。
部活動	部活動名・ポジションや役割など活動を通してどんなことを学んだかを述べよう。
その他	最近のニュースで最も印象に残ったこと。趣味。特技。長所と短所について。中学生活で最も印象に残ったことなど。



4. 作文試験のテーマ <令和6年度の課題例>

高校名	課題（テーマ）		字数	時間
修猷館	内田樹編『ポストコロナ期を生きるきみたちへ』の一部を読んで、 一段落：「合理化」の良い点、良くない点を自分の経験を踏まえて書きなさい。 二段落：第一段落を踏まえて、どのような高校生活を送りたいか書きなさい。		600字	50分
福岡	コロナウイルスの感染拡大や自然災害への取り組みにおいて、日本は世界で主導的な役割を果たすと期待されている。そのような状況の中、あなたは高校生活でどのように学んでいくべきか。 一段落：【資料1】と【資料2】から読み取り、高校生・大学生の意識の特徴について書きなさい。 二段落：【資料3】から読み取った内容を踏まえ、高校3年間で学びたいことを具体的に書きなさい。 【資料1】 リクルートマネジメントソリューションズ新入社員意識調査2023 ・働きたい職場の特徴 あなたはどのような特徴を持つ職場で働きたいですか？ ・仕事をするうえで重視したいこと あなたが仕事をする上で重視することは何ですか？ 当てはまるものに最大2つまでチェックを入れてください。 【資料2】 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査 ・どのような意識の変化がありましたか。重要なものから順に回答してください。（複数回答） 内閣府（2020）「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」 ・オンライン教育（授業）に対する希望（高校生／大学生・大学院生） 【資料3】 国立青少年教育振興機関 高校生の進路と職業意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較 ・将来の生き方や進路に関わる活動への関心（「関心がある」と回答した割合） ・将来の生き方や進路に関わる活動への取り組み（「取り組みをしている」と回答した割合）		500字 横書き マス目あり	50分
筑紫丘	普通科	課題文(どのように知恵を得ることができるかをイギリスの人類学者が論じている内容)を読んで、あなたの考える知恵とはどのようなものか書きなさい。また、その知恵を身につけるために高校生活をどう過ごしていくか書きなさい。	指定なし (20行)	50分
	理数科	池内了著『寺田寅彦と現代一等身大の科学をもとめて』を読み、自分の関心がある身近な科学について具体的に説明しなさい。また、筑紫丘高校理数科の3年間をどのように過ごし、将来どのような分野で活躍したいか具体的に書きなさい。		

明善	普通科	小川糸著『針と糸』を読んで、 ①「自分が生み出した根拠のない妄想」とはどのようなものか。また、それから抜け出す利点として筆者が述べていることを書きなさい。 ②「自分が生み出した根拠のない妄想」とらわれないために、どのような工夫や取り組みをしたか。また、それを高校生活でどのように活かすか書きなさい。	①100字 ②500字	50分
	理数科	『科学は未来をひらくー中学生からの大学講座3』を読んで、 ①筆者は成長を止めないためにどうすればいいと述べているか書きなさい。 ②①を踏まえ、自分を成長させるために、明善高校理数科においてどのような高校生活を送りたいと考えているか書きなさい。	①150字 ②400字	50分
小倉	我が国における食品ロス量の推移のグラフを見て、 (1)我が国の食品ロス量の推移の特徴を書きなさい。 (2)食品ロスを減らすための解決策を、企業・個人の立場からそれぞれ書きなさい。		(1)160字 (2)400字	50分
東筑	日向野幹也著『高校生からのリーダーシップ入門』を読んで、あなたの考えるリーダーシップについて書きなさい。また、それを高校生活でどのように身につけ、発揮していきたいか書きなさい。		600字～ 800字	60分

■一般入試

1. 選抜方法・・・学力検査と調査書（内申書）の2本立てで選抜

選抜方法は、まず学力検査の得点（300点満点／5教科×60点）と第3学年における9教科5段階評定の合計（45点満点）のそれぞれについて順位を決めます。どちらの順位も一定の範囲内（合格圏）に入っている人のグループをA群とし、A群は、調査書の記載事項に問題がなければそのまま合格予定者となります。A群の割合は、平均して募集定員の60%を占めています。

A群以外はすべてB群となりますが、B群は調査書の点数、記載事項、学力テストの点数等を総合的に判断して、合否が決められます。

ただし、すべての学科・コースが同じ条件で選抜されるのではなく、学力検査で一部の教科を加重配点したり、調査書で一部の教科を加重評価したりする学科・コース、もしくは「個性重視の特別試験」という面接・作文・実技などを別に実施する学科・コースもあります。

問題の形式としては、すべての科目で会話文形式の問題が出題されています。また、複数の資料から内容を読み取り、総合して答案を書かなければならない記述問題が増えています。

令和7年度 一般入試日程

入学願書受付	令和7年2月7日（金）～ 2月17日（月）正午
志願先変更受付	令和7年2月18日（火）～ 2月21日（金）正午
学力検査	令和7年3月5日（水）
合格発表	令和7年3月17日（月）午前9時

＝志願先変更とは＝

中学校から公立高校へ提出された入学願書をもとに、各公立高校の倍率が判明します。私立高校入試での合否や進路の再考から、一度提出した願書を取りやめ、志願先を変更できるシステムです。いざという時には、大いに利用すべきシステムです。

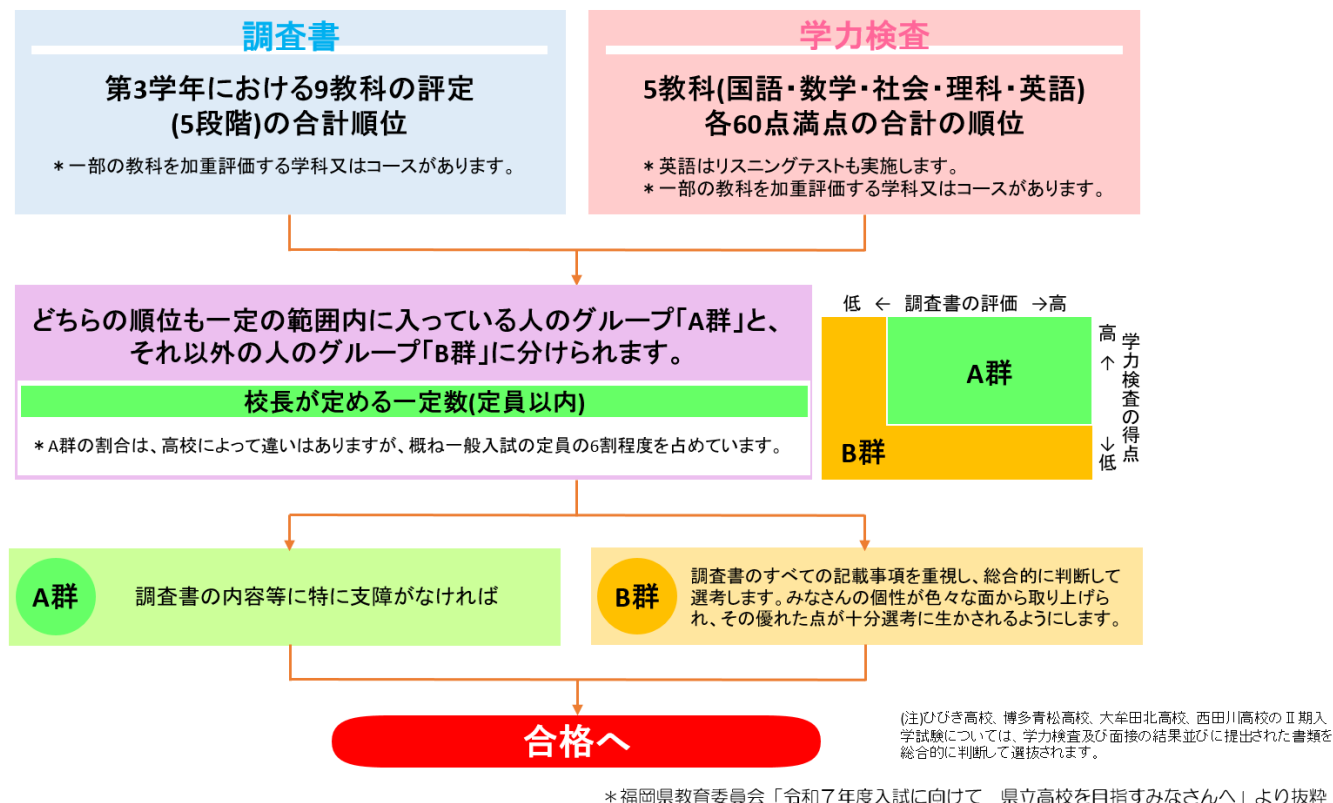
※ 福岡県教育委員会「令和6年度入試に向けて 県立高校を目指すみなさんへ」より抜粋

2. 問題の難易度・・・令和6年度の全体の平均点は183点

毎年、福岡県教育委員会が公立高校の全受験者の得点を集計し、全受験者の平均点を発表しています。その結果をまとめた一覧を入試結果総評に記載していますので、ご覧ください。

一般入試での合格者の決定方法

調査書を積極的に活用します



3. 第2志望校制度の実施について

※詳細は令和6年度要項に基づきます。

令和5年度入試から、一般入試において、教育委員会が指定する高校（学科・コース）に対する第2志望での志願が可能になりました。特色化選抜、推薦入学者選抜での実施はありません。

○中学生の進路選択の幅を拡げ、県立高校を志願しやすい環境をつくるため、一般入学者選抜において、教育委員会が指定する高校（学科・コース・系）に対する第2志望での志願を可能としています。

※特色化選抜、推薦入学者選抜等では実施しません。

○第1志望校から学力検査の結果等を送付するので、改めて書類の提出や学力検査の受検等は必要ありません。

○第1志望校において合格とならず、第2志望校に欠員が生じている場合に限り、第2志望校で選考が行われます。

○第2志望校制度による志願は、県内全域から行うことができます。

＜令和6年度の実施校＞

- ・ 若松高校（普通科）
- ・ 八幡工業高校（機械系、電気系、土木系）
- ・ 遠賀高校（普通科（情報科学コース★、情報ビジネスコース★、生活創造コース★）、農業食品科）
- ・ 早良高校（普通科、普通科スポーツコミュニケーションコース）
- ・ 玄洋高校（普通科）
- ・ 太宰府高校（普通科） ※ 芸術科は除きます。
- ・ 三井高校（普通科） ※ 普通科福祉教養コース及びスポーツ健康コースは除きます。
- ・ 三潁高校（普通科） ※ 普通科スポーツ文化コースは除きます。
- ・ 大川樟風高校（普通科（総合コース★、文理コース★）、住環境システム科）
- ・ 山門高校（普通科、普通科理数探究コース）

- ・ 浮羽工業高校（建設系、機械・電気系）
- ・ 浮羽究真館高校（普通科総合コース）
- ・ 朝倉光陽高校（食農科学科） ※ 普通科は除きます。
- ・ 東鷹高校（普通科総合コース、総合生活科）
- ・ 田川科学技術高校（農業食品科、工業システム科機械・電気コース、工業システム科建築・土木コース、ビジネス科学科）
- ・ 稲築志耕館高校（総合学科）
- ・ 嘉穂東高校（普通科、英語科）
- ・ 嘉穂総合高校（普通科総合コース、農業食品科、工業科、情報科）
- ・ 直方高校（普通科） ※ 普通科スポーツ科学コースは除きます。
- ・ 筑豊高校（総合ビジネス科◆、ビジネス情報科◆、生活デザイン科）
- ・ 鞍手竜徳高校（総合学科）

★ 遠賀高校と大川樟風高校の普通科各コースは、普通科として一括して募集します。

◆ 筑豊高校の総合ビジネス科とビジネス情報科は、商業に関する学科としてまとめて募集します。

4. 一般入試における加重評価・配点について

令和7年度は以下の県立高校の学科・コースで実施されます。

■調査書における特定教科の加重評価

学科やコースの特色に応じた教科の評定点が1.5倍されます。

保健体育の評定点を 1.5倍	北九州（普通科体育コース） 早良（普通科スポーツコミュニケーションコース） 直方（普通科スポーツ科学コース） 三井（普通科スポーツ健康コース）
-------------------	--

■学力検査における特定教科の加重配点

学科やコースの特色に応じた教科の得点が1.5倍されます。

英語の得点を1.5倍	北筑・香住丘・久留米・嘉穂東（いずれも英語科） 玄界（普通科国際文化コース）
数学と理科の得点を 1.5倍	筑紫丘・明善・嘉穂・八幡・新宮・鞍手 （いずれも理数科） 城南（普通科理数コース） 香住丘（普通科数理コミュニケーションコース）

※福岡県教育委員会「令和7年度入学選抜における『特定教科の加重評価』及び『特定教科の加重配点』実施校一覧」より抜粋

■個性重視の特別試験

※令和6年度要項に基づきます。

学科やコースの特色にふさわしい能力・適性・興味・関心などの多様な個性をみるために、面接・作文・実技などの試験が以下の学校の学科、コースで行われます。

<令和6年度の実施校>

地区	内容	学校・学科・コース
北九州地区	面接・実技	北九州高校（普通科体育コース）
	実技	八幡中央高校（普通科芸術コース）
	作文	若松高校（定時制課程普通科）
福岡地区	面接	糸島農業高校（園芸技術科、動植物活用科、食品科学科、生活科学科）
	実技	太宰府高校（芸術科）
筑後地区	面接・実技	三潁高校（普通科スポーツ文化コース）
	面接	八女工業高校（電子機械科、IT自動車科、電気科、情報技術科、工業化学科、土木科）
		八女農業高校（生産技術科、システム園芸科、動物ペット科、食品開発科）
筑豊地区	面接・実技	直方高校（普通科スポーツ科学コース）
	面接	鞍手竜徳高校（総合学科）
	作文	鞍手高等学校（定時制課程普通科）

※福岡県教育委員会「令和6年度福岡県立高等学校入学選抜要項」より抜粋

■特色化選抜入試

平成 31 年度入試より、推薦・一般入試とは別に、学校の特色にふさわしい生徒の入学を促進するため、生徒の多様な個性を積極的に評価する「特色化選抜」が、下記の学校・コースで新たに導入されました。

昨年度までは、1 月下旬に特色化選抜、2 月上旬に推薦入学が実施されていましたが、令和 7 年度入学者選抜においては、特色化選抜及び推薦入学を同一日（令和 7 年 1 月 30 日（木）、31 日（金））に実施することになりました。特色化選抜で内定にならなかった場合、一般入試に出願できます。選抜方法は、面接を行うほか、作文または実技試験を実施する学校もあります。

特色化選抜については、募集定員に占める割合の上限を県教委が定めておらず、校長の判断に任せているため、特色化選抜の合格者が募集定員全体の 5～7 割を占めている学校も見受けられました。

令和 7 年度は、実施校が 63 校になっています。それにともない、推薦入試を実施しない学校も増えてきています。

令和 7 年度 特色化選抜入試日程

入学願書受付	令和 7 年 1 月 22 日（水）～1 月 28 日（火）正午
面接・作文・実技試験	令和 7 年 1 月 30 日（木）・1 月 31 日（金）
合格内定通知	令和 7 年 2 月 5 日（水）午前 9 時
合格者発表	令和 7 年 3 月 17 日（月）午前 9 時

＊特色化選抜及び推薦入試の実施校については、[こちら](#)をご確認ください。